

## 国立精神・神経医療研究センター土地活用事業の公募について

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター（以下「当センター」という。）は、土地の有効活用を図るため当センター敷地内の一部借地を希望する民間事業者（以下「事業者」という。）を公募することといたしました。

つきましては、借地を希望する事業者は次のとおり企画書及び見積書を提出願います。

平成28年12月27日

国立研究開発法人  
国立精神・神経医療研究センター  
理事長 水澤 英洋

### 1 事業概要

#### (1) 事業名

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 土地活用事業

#### (2) 事業内容

事業者は、当センターが指定するセンター敷地の一部を有償で借り受け、当センターの目的・業務の範囲に関連性がある建物等の整備及び運営を行う。

#### (3) 事業期間

契約締結日から50年以内

#### (4) 敷地概要

所在地 東京都小平市小川東町4-1-1 の内

面積 12,500 m<sup>2</sup>以内

用途地域 第一種中高層住居専用地域

### 2 参加資格及び評価基準

#### (1) 企画書の提出者に要求される資格

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター会計規程及び国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター契約事務取扱細則の規定によるほか、次に掲げる条件を全て満たしている者であること。

- ① 現に実施しようとする事業を建設、運営している者であること。
- ② 法人等の財務状況、損益状況及び資金状況に問題がないこと。
- ③ 不正及び不誠実な行爲がないこと。
- ④ 暴力団員による不当な行爲の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第32条第一項各号に掲げる者に該当しないこと。

#### (2) 企画書の評価基準（評価基準については別紙）

- ① 企画書の提出能力  
同種又は類似業務の過去3年間の実績、その他主要業務の実績
- ② 企画建築物の概要  
建物面積・構造及び配置プランの提示
- ③ 企画する建築物の安全性  
建築等にかかる資金調達の見込み
- ④ 必要な敷地面積  
希望借地面積の記載
- ⑤ 当センターとの連携、協力体制  
当センターとの連携・協力が可能である場合に記載。事業が医療福祉施設である場合は、すでに外部医療機関等との連携が行われていれば連携状況について記載。
- ⑥ 運営計画（方針）  
事業稼働後の具体的な運営計画（事業内容、運営に係る資金計画（収支見込み計算書等）、実施予定施設の職員配置状況及び利用料金の設定状況等）の資料の提示

### 3 手続等

#### (1) 担当課

〒187-8551 東京都小平市小川東町4-1-1

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 財務経理課

担当： 管財係長 古越 大介

電話： 042-341-2711

#### (2) 説明書の交付期間及び場所

##### ① 交付期間（時間）

平成28年12月27日（火曜日）から平成29年2月23日（木曜日）

平日9時～17時

##### ② 交付場所

上記（1）に同じ

#### (3) 企画書及び見積書の提出期限、場所及び方法

##### ① 提出期限

平成29年2月24日（金曜日）12時

##### ② 提出場所及び方法

提出場所：上記（1）に同じ

提出方法：持参または郵送（必着）

見積書は封書で提出

#### (4) 見積書の記載方法

見積価格は1㎡当たりの月額賃料（非課税）を記載すること。なお、固定資産税相当分については、別途小平市からの請求に基づき実費負担とするため、見積価格には含めないこと。

(5) 評価方法

評価方法は別途入札説明書配布の際に添付する「国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター土地活用事業評価項目別評価基準」のとおり

(6) 事業者決定の方法及び日時

① 決定方法

提出された企画書を上記（5）に基づき評価し、併せて予定価格を超える見積書の価格を評価し交渉権者となる事業者を決定する。

② 決定日時：平成29年3月6日（月）

4 その他

(1) 虚偽の内容が記載されている参加資格確認書または企画書は無効となります。

(2) 提出された企画書に対するヒアリング、プレゼンテーション

ヒアリングについては、必要に応じて実施します。

プレゼンテーションについては、後日改めて日時を設定します。

(3) 関連情報を入手するための窓口

上記3－（1）に同じ